



日本テクノ・ラボ（株）
(札幌アンビシャス：3849)

**2021年3月期 第2四半期
決算補足説明資料**



October 30, 2020

<https://www.ntl.co.jp/>



2021年3月期第2四半期決算概要



2Q総括と3Q以降の取り組み

2Q総括

- 売上高は前年同期比△36百万円で着地。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により顧客企業の営業活動が停滞したことで **受注および納品までのプロセスが長期化**。
- 新しくムラ補正処理機能の高機能化開発中であったプリンタコントローラには新バージョンを待つ動きもあり、納品、受注ともに低迷（**10月に検収済み**）。

3Q以降の取り組み

- 引合いの強い新機能搭載バージョンのプリンタコントローラを積極的に展開。
- 顧客ニーズを先取りし各製品の機能強化に向けR&Dにも注力。
- 新型コロナ禍における働き方改革および業務効率の改善、固定費削減のため本社移転。10/19より新本社で営業開始。

2021年3月期通期業績予想について

弊社が注力する、イメージング&プリンタコントローラ事業、情報セキュリティ事業、映像セキュリティ事業、ストレージソリューション事業へのニーズは高く、2021年3月期においても、2019年5月に公表いたしました中期経営計画「Next Stage 2022」達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。

各セグメントにおいて現在非常に多くの引合いを頂いておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により引合いから受注・納品までのプロセスが長期化傾向にあり、今後の受注ならびに納品の時期を見通すことが難しく、適切な予想の開示ができないと判断したことから業績予想を未定とさせていただくことにいたしました。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

損益計算書サマリー



新型コロナウイルス感染症の影響により、受注、納品のテンポが鈍ったことにより売上、利益ともに前年を下回った。

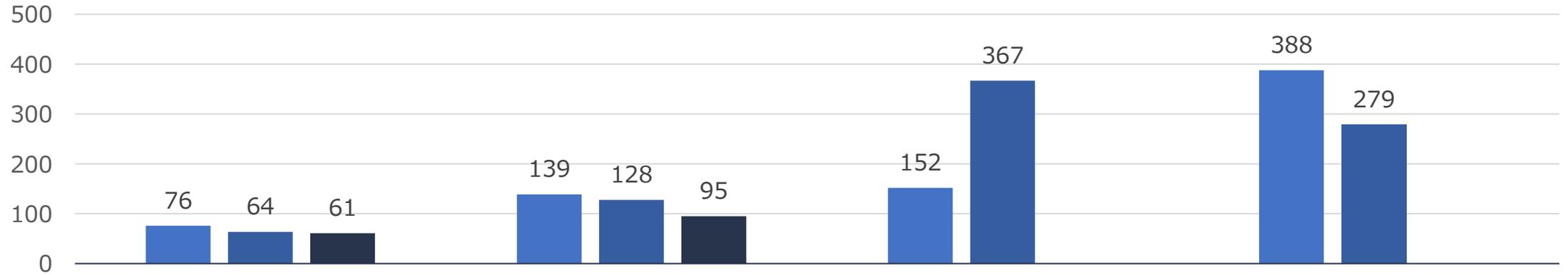
単位：百万円

	2021/3期 第2四半期実績	2020/3期 第2四半期実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	156	193	△36	△18.8
営業利益	△ 124	△33	△91	—
経常利益	△ 124	△32	△91	—
四半期純利益	△ 90	△36	△53	—

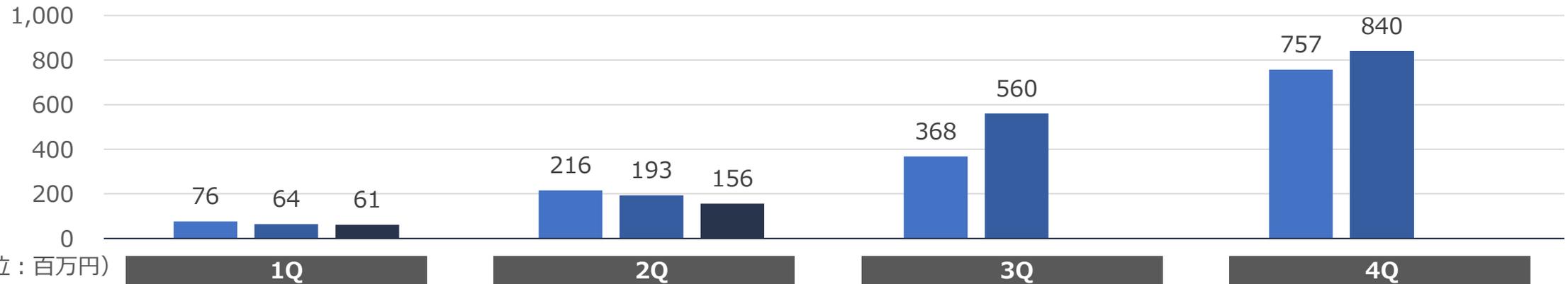
四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移

■ 2019/3期 ■ 2020/3期 ■ 2021/3期



累計売上高推移



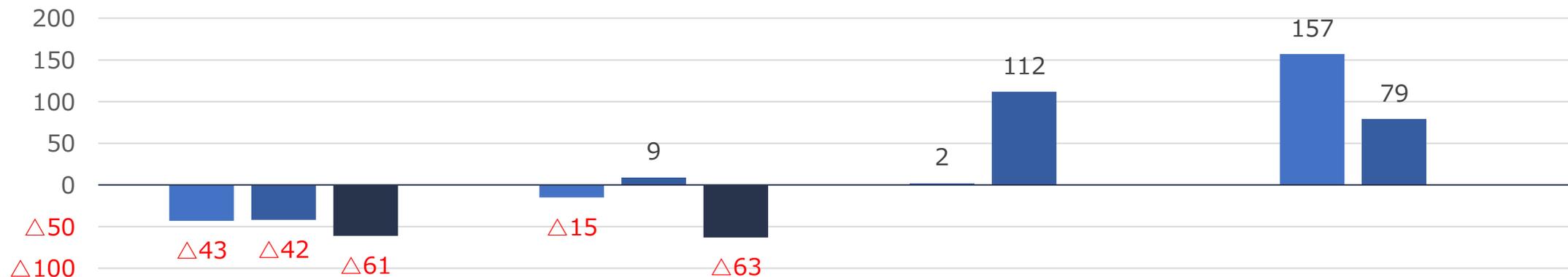
(単位：百万円)

四半期業績推移（営業利益：過去3期比較）

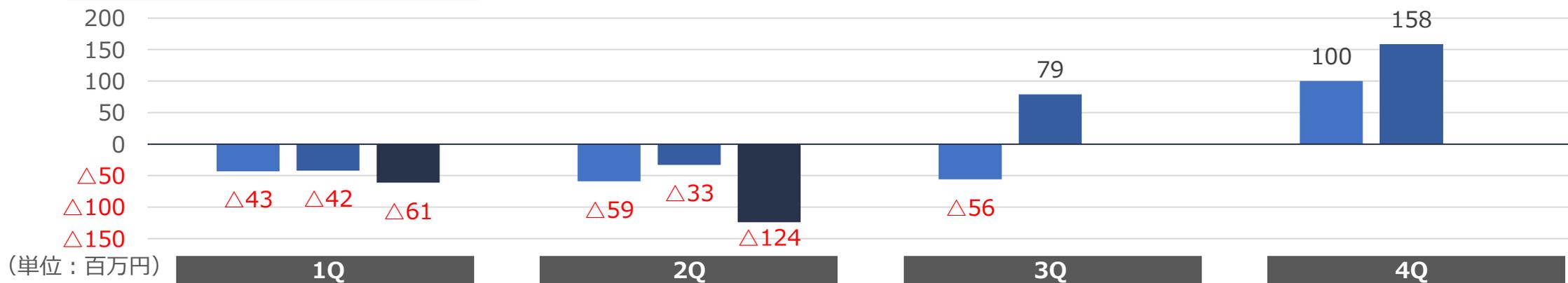


四半期毎の営業損益推移

■ 2019/3期 ■ 2020/3期 ■ 2021/3期



累計営業利益推移



セグメント別情報 売上高



単位：百万円

	2021/3期 2Q		2020/3期 2Q		前年同期比較	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング & プリンタコントローラ	23	15.1%	24	12.8%	△1	△4.2%
ストレージソリューション	6	4.4%	12	6.7%	△6	△46.6%
セキュリティ	119	76.4%	145	75.6%	△26	△17.9%
ビジネスソリューション	6	4.1%	9	4.9%	△3	△32.5%

セグメント別情報 セグメント利益

単位：百万円

	2021/3期 2Q	2020/3期 2Q	前年同期比較	
	セグメント利益	セグメント利益	増減額	増減率
イメージング& プリンタコントローラ	△18	2	△20	—
ストレージソリューション	△12	△17	+4	—
セキュリティ	△15	44	△59	—
ビジネスソリューション	+0	2	△2	△102.5%
全社費用	△78	△33		

貸借対照表

20/3期末

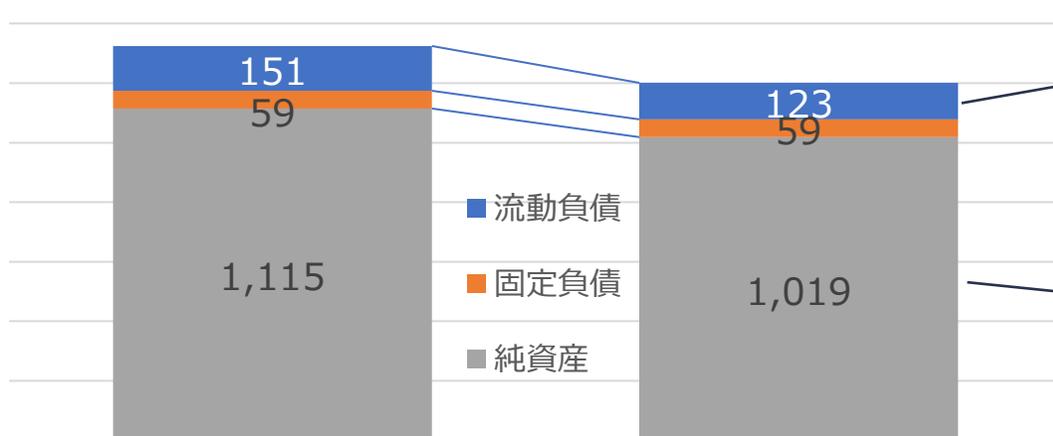
20/9月末

【主な増減要因】



現金及び預金：34百万円増加
受取手形及び売掛金：227百万円減少

差入保証金：24百万円増加
繰越税金資産：36百万円増加



未払金：11百万円減少
未払法人税等：51百万円減少
未払消費税等：17百万円減少
前受金：37百万円増加
資産除去債務：18百万円増加

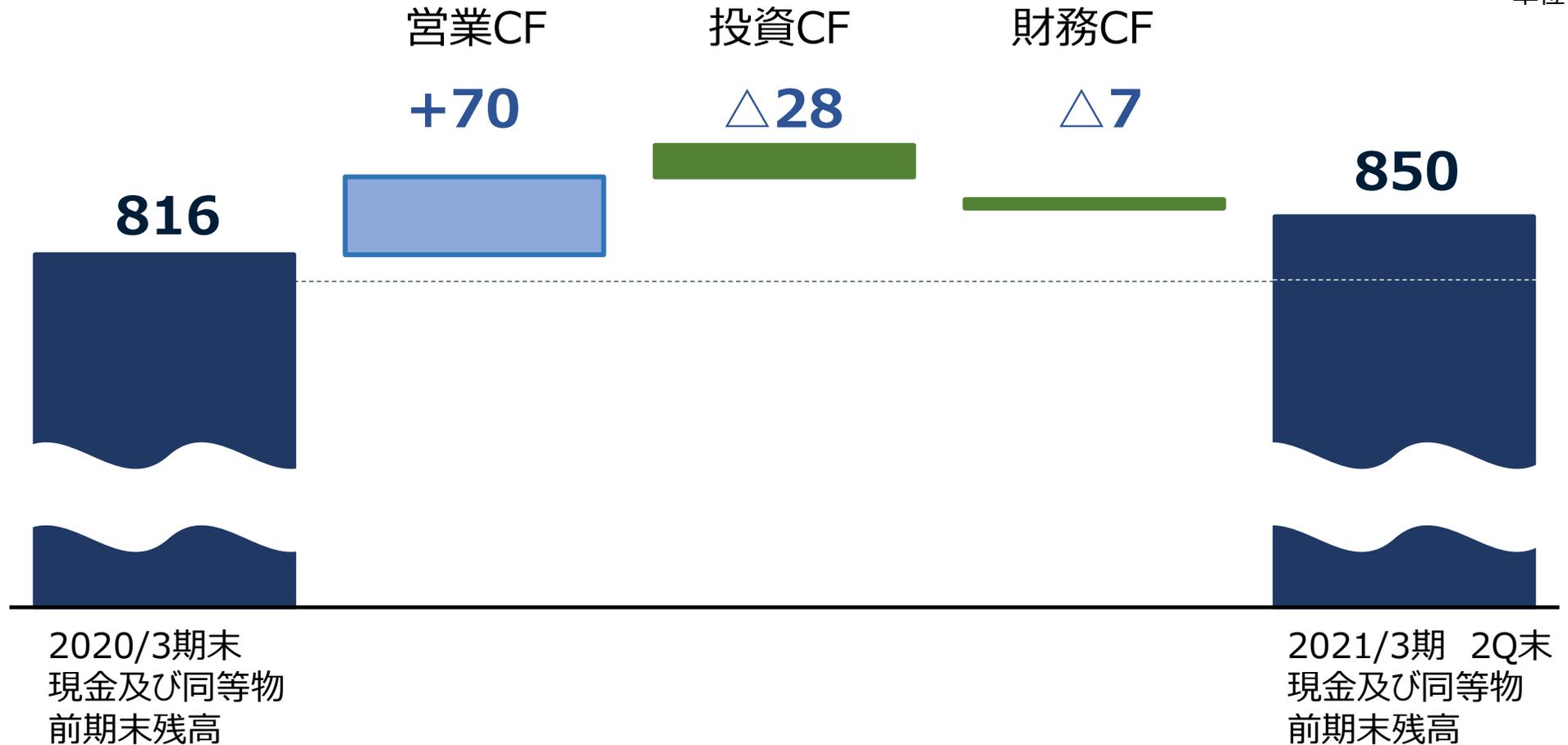
利益剰余金：98百万円減少
➢ 配当金の支払い：8百万円
➢ 四半期純損失計上：90百万円

単位：百万円

キャッシュフロー計算書



単位：百万円





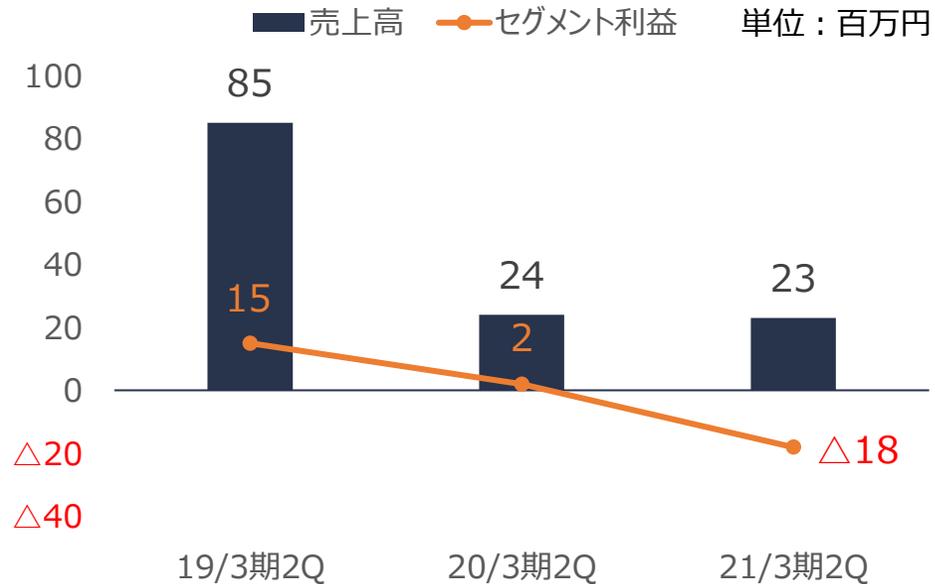
2021年3月期 下期の取り組み セグメント別のポイント



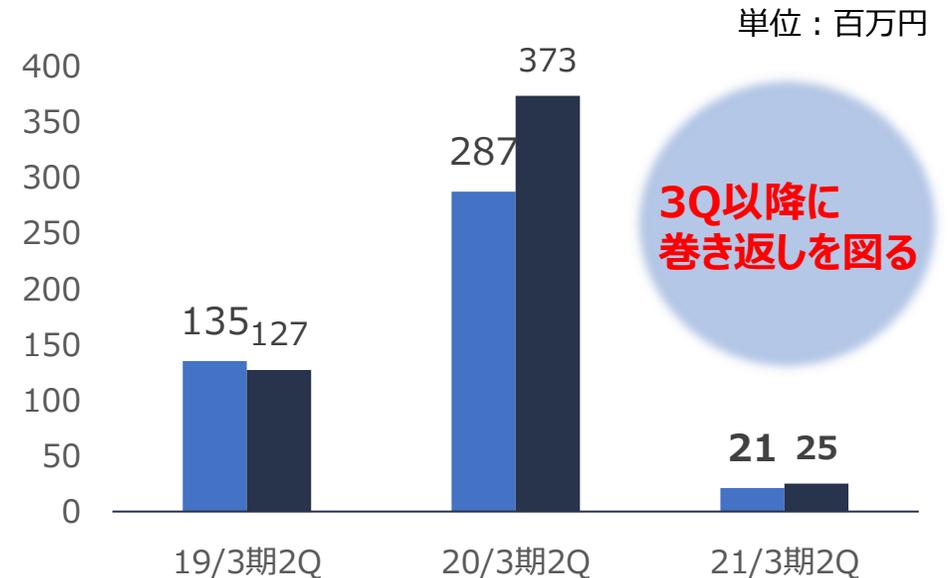
イメージング & プリンタコントローラ事業

プリンタコントローラは年間50セットの販売を見込む。
 プリンタヘッド目詰まり等による印刷時のムラ補正処理機能の機能アップが完了し、世界トップレベルの画像処理及びインク吐出制御装置が完成。
 大手ボールプリンターメーカー向けソフトウェア開発プロジェクト順調に進行中。

2Q売上高とセグメント利益



2Q受注高と受注残高

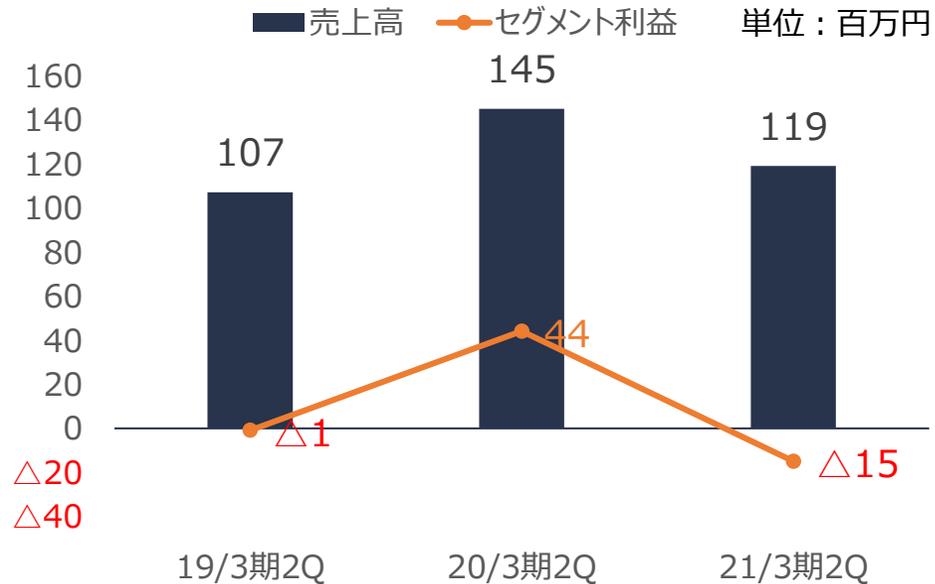


セキュリティ事業

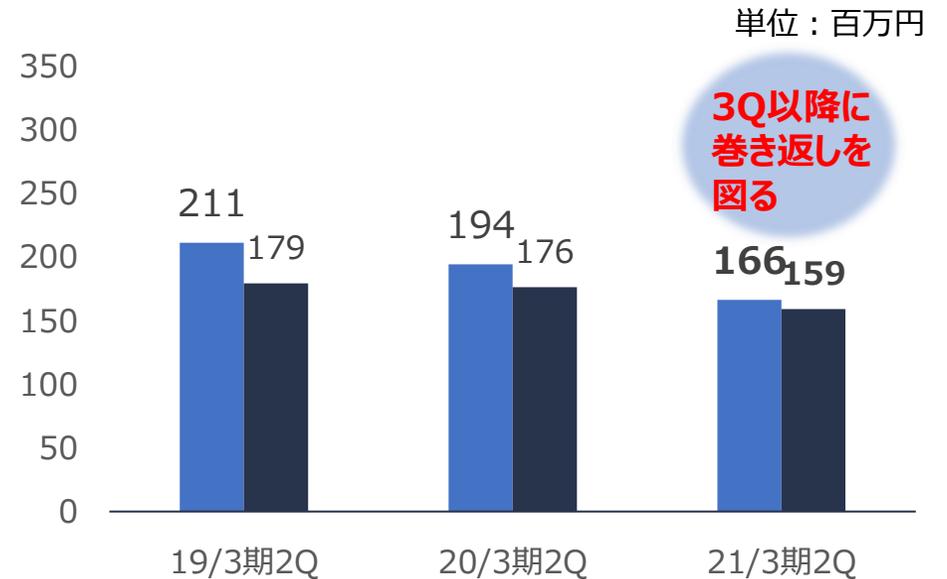


印刷セキュリティ管理に注力。
某中央官庁向けに導入が決定。納品準備中。
他社製品からのリプレイスにより、累計で約30か所に納入実績がある市役所等に向けて拡販強化。

2Q売上高とセグメント利益



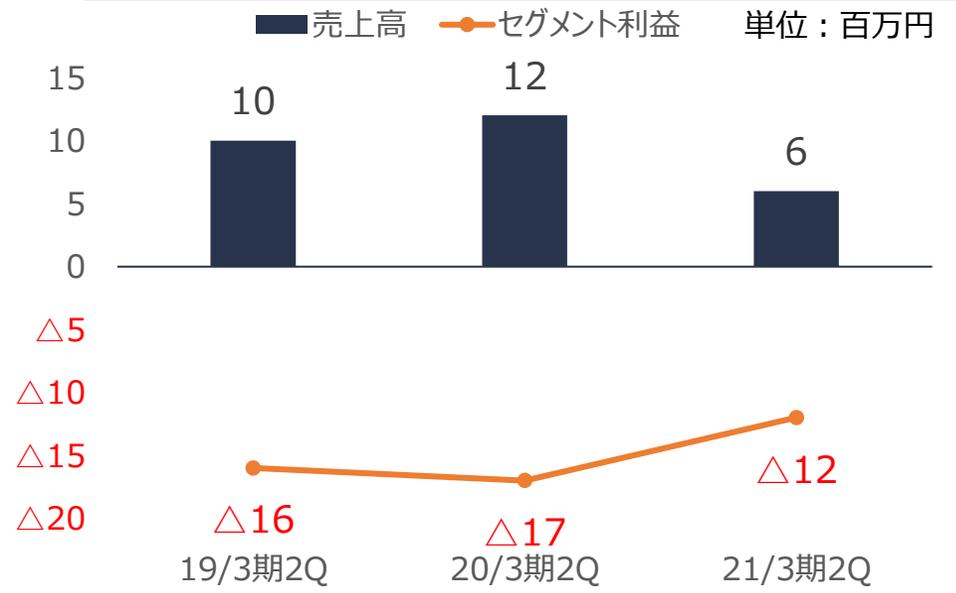
2Q受注高と受注残高



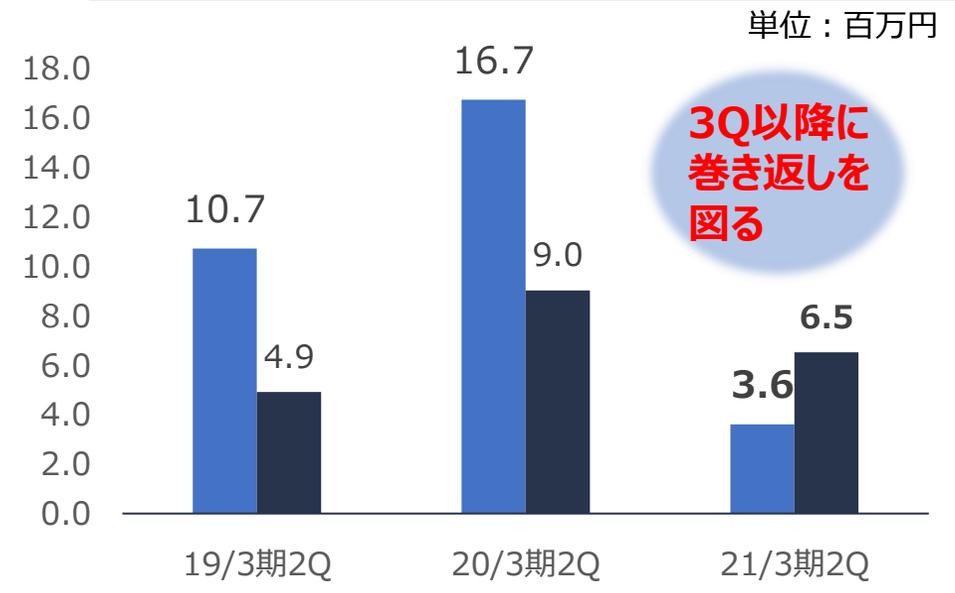
ストレージソリューション事業

現在注力しているブルーレイメディアカセットに加え、テープメディアの使用することにより安価な仕組みを構築。納入実績のある医療機関、研究機関等の他、ニーズが高いと思われる国家プロジェクト、先端研究分野、テレコム産業などへの納入を図る。

2Q売上高とセグメント利益

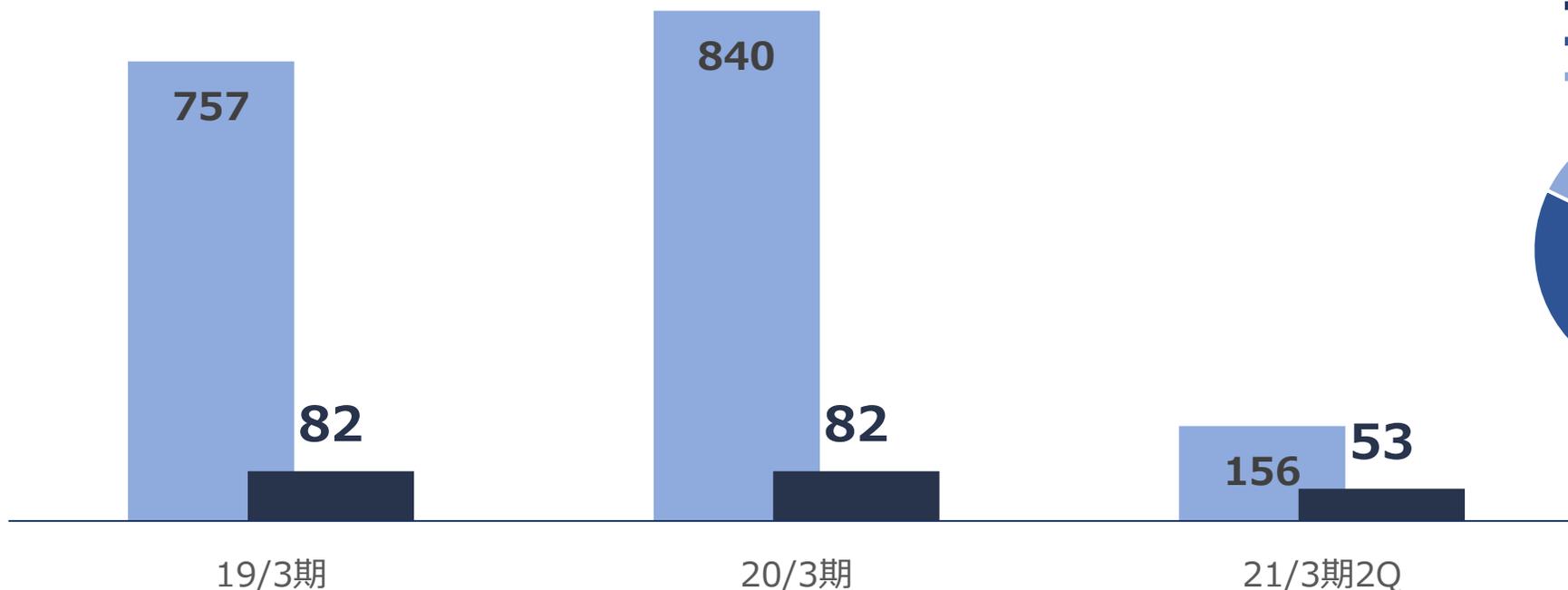


2Q受注高と受注残高



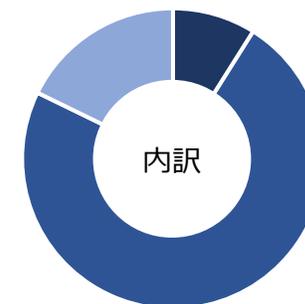
将来の収益獲得のため積極的な研究開発投資を継続

■ 売上高 ■ 研究開発費



R&Dセグメント別内訳

- イメージング&プリンタコントローラ
- セキュリティ
- ストレージ



単位：百万円



本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

又、業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

IR連絡先

管理部 IR担当

電話：045-263-8546

<https://www.ntl.co.jp/>



<https://www.ntl.co.jp/>